



### 往年のプロ野球選手が目の前で (8月22日 神原スポーツ公園)

プロ野球で活躍した往年の名選手が参加して「ドリーム・ベースボール in 高梁」(同実行委員会主催)が開催されました。午前中行われた野球教室では、市内外から参加した小中学生約620人が投手や捕手、内野手などに分かれ、プロの名選手24人からそれぞれ指導を受けました。午後からは、サイン入りバットやグローブなどが当たる抽選会に引き続き、各球会員のドリームチームと市選抜チームによる親善試合を開催。球場を訪れた2000人を超える野球ファンらは大きな声援を送っていました。

### 魚いっぱい捕れたかな (9月5日 備中町布瀬川)

「備中リバーサイドフェスティバル」が開かれました。今年3月に地元有志で組織された「川 de 魚 と 遊ぼう会」が、子どもたちに川遊びを楽しんでもらおうと初めて企画したもので、親子連れら約250人が参加。ネットで仕切られた川には、アユやウナギなど約600匹が放流され、子どもたちは夢中で魚を追いかけていました。



### 「サンライズ出雲」号 備中高梁駅に臨時停車 (8月27日 備中高梁駅)

寝台特急「サンライズ出雲」号が備中高梁駅に臨時停車しました。JR伯備線備中高梁駅利用促進協議会が、同号の備中高梁駅恒久停車の実現を目指し取り組んだもので、東京ディズニーリゾートへの2泊3日のツアーが企画されました。午後9時48分ごろ、同号が初めて備中高梁駅のホームに停車すると、市内外から参加した35人の家族連れらは、はやる気持ちを抑えながら順次列車に乗り込んでいきました。



### 新規栽培者の確保を目指して (8月17日 JAびほくトマト選果場)

市トマトスクールで、5月から受講生11人が栽培技術などを学んでいます。4回目のこの日は、JAびほく職員から収穫適期の講習を受けた後、トマト選果場を視察。選別、梱包といったほとんどの作業が自動化されていることなどの説明を受けました。本市は県内最大の夏秋トマトの産地で、後継者の育成を目的に平成18年度からスクールを開校しており、今年度で5年目。



# カメラ

あらかると



### にぎわう駅前大通り (8月14~16日 備中高梁駅前大通り)

県下三大踊りの一つ「備中たかはし松山踊り」(同実行委員会主催)が開かれました。職域・団体連や子ども会連による踊りコンテスト、仕組み踊り、氷の彫刻展などが行われ、大勢の家族連れや若らでにぎわいました。また、踊りフレンズによる踊り方教室や新しい試みとして着付けサービスも行われ、多くの人たちが利用していました。

### 高梁って おもしろいなあ~ (8月23・24日 市内各所)

市内の小学3・4年生39人が参加し、「高梁すきすき探検隊2010」(市教育委員会主催、吉備国際大学社会学部協力)が開かれました。子どもたちは、吉備国際大学の学生をリーダーとして班ごとに行動。2日間で、備中松山城やうかん常山公園「石の風ぐるま」などを見学し、フリークライミングや陶芸などの体験も行いました。陶芸体験では、指導者の説明を真剣に聞いた後、粘土を使ってめいめいに皿やコップ作りに挑戦。2日間で高梁のさまざまな魅力を満喫しました。

